

**鴨猪水力発電所 環境教育・観光資源化施設整備事業**

1. 補助事業の目的

地元からの要望に基づき、鴨猪水力発電所の概要説明看板の設置や発電設備の現物展示を行い、農業体験と併せた環境教育の場としての施設の整備を行うことにより、鴨猪水力発電所の理解促進を図るとともに、地域の活性化に貢献することを目的とする。

2. 補助事業の概要

(1) 事業者名

九電みらいエナジー株式会社

(2) 事業期間

平成 30 年 7 月 12 日 ～ 平成 31 年 2 月 12 日

(3) 対象地域

熊本県上益城郡山都町

(4) 対象地域の状況

山都町は、南阿蘇外輪山から九州脊梁山地までを圏域とした九州のほぼ中央に位置する熊本県屈指の面積 544.67km<sup>2</sup> を有する町である。

このような自然環境が育む矢部茶や高冷地野菜、ブルーベリーなどの果樹、畜産等の数多くの特産品を有する農林業が基幹産業となっており、国の重要文化財に指定されている「通潤橋」や、農村文化の象徴である「神楽」など伝統ある農山村文化を形成している。

(5) 対象発電所

水系・河川名：緑川水系・鴨猪川

発電所名： 鴨猪水力発電所

事業者： 九電みらいエナジー株式会社

出力： 1,990kW

3. これまでの取り組み状況と課題

鴨猪水力発電所は、平成 8 年から他社が開発に向けて設計検討や地元対応を実施されていたが、平成 25 年に地元に対して開発断念が報告され、その後、九電グループが開発に向け検討を進めてきた地点である。地元は開発に期待を寄せていたものの、開発断念となった経緯もあり、発電所の建設に対して懐疑的である中で着工にこぎつけた地点である。

地元とは鴨猪水力発電所建設協議会を立ち上げ、これまで様々な協議（12 回実施）を進めてきたが、地元は昔からの課題として地域の活性化のために人を呼び込みたいと考えており、発電所が建設されたら農業体験等と併せて水力発電を環境教育に取り込みたいとの意向があり、早期の運転開始が望まれている。また、鴨猪水力発電所を山都町中心部にある通潤橋\*1 や地元（菅地区）にある鮎の瀬大橋\*2 や鮎の瀬カフェなどとあわせて、新たな観光資源の目玉としても活用も考えている。

そのため、平成 29 年度は、地元ニーズの調査を踏まえた施設整備の設計検討を行い、今後は、発電所の運転開始に併せ地元と一体となり、再生可能エネルギー看板や発電所設備の現物展示を通じて環境教育に取り組んで行く必要がある。

※1：重要文化財（国） ※2：土木学会デザイン賞最優秀賞

4. 実施概要

平成 29 年度の地域環境整備事業で実施した設計検討業務を踏まえ、鴨猪水力発電所の概要説明等、施設整備工事として以下の内容について実施した。

(1) 鴨猪水力発電所の概要説明や再生可能エネルギー看板ほかの設置

①看板の設置

・鴨猪水力発電所の概要	1 枚	
・再生可能エネルギー看板（水力、地熱、風力、太陽光、バイオマス）	5 枚	
・地元（菅地区）の紹介	2 枚	計 8 枚

②発電設備の現物展示

・水圧管（FRPM 管：現物）、水車ランナ（小型版）	1 式
----------------------------	-----

(2) 上記設置に伴う環境教育・観光資源化事業としての施設の整備

①展望デッキおよび通路等の整備

1 式

施設全景と鮎の瀬大橋



看板デザイン（水力発電）



看板および展望デッキ



水圧管、水車および進入路



5. 得られた効果

- ・観光客が足を止めて見学に訪れている
- ・農業体験と併せた水力発電所の出前講座等、環境教育の具体的検討が進められている
- ・現在、休日のみの営業となっている鮎の瀬カフェの通年営業など施設を観光資源として活用した地域の活性化策が検討されている
- ・小学生の遠足時等において鴨猪水力発電所および再生可能エネルギーに関する理解促進が期待できる  
(達成度 100%)